

令和5年9月26日
北陸地方整備局
新潟港湾・空港整備事務所

佐渡島「命のみなとネットワーク」推進協議会による防災訓練を開催します

国土交通省港湾局では“みなと”の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、全国各地で取組を展開しております。

新潟県内では佐渡市、新潟県、新潟市、聖籠町及び民間事業者が参加し、令和5年3月27日に佐渡島「命のみなとネットワーク」推進協議会を立ち上げたところです。

このたび、同協議会による初の訓練となる、地震を想定した海上からの緊急支援物資輸送訓練、及び巡視艇による人命救助訓練を両津港において開催いたしますので、以下のとおりお知らせします。

また、防災訓練終了後、訓練に参加する大型浚渫兼油回収船「白山」の一般公開（無料）を行います。

1. 日 時 令和5年10月 1日（日） 9：30～11：30
2. 訓練会場 両津港（湊地区）（新潟県佐渡市両津湊 南埠頭2号岸壁付近）
新潟県佐渡市両津湊（別紙1のとおり）
3. 主催者 佐渡島「命のみなとネットワーク」推進協議会
4. 訓練内容 別紙1のとおり
5. 参加者 別紙1のとおり
6. 取材申込 取材を希望される方は、新潟港湾・空港整備事務所 玉木あて
（TEL025-222-6111）9月28日（木）までに、別紙2の「取材申込書」にて、申し込み願います。

同時発表記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
専門紙

<問い合わせ先>

国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所
副所長 竹内、沿岸防災対策官 玉木
TEL：025-222-6111（直通）

○訓練内容

【次第】

- (1) 開会 (9 : 3 0 ~)
- ・ 佐渡市長 挨拶
 - ・ 北陸地方整備局 港湾空港部長 挨拶
- (2) 訓練 (人命救助訓練) (9 : 4 0 ~)
- ・ 巡視艇「ときくさ」による人命救助訓練
- (3) 訓練 (緊急支援物資輸送訓練) (1 0 : 1 0 ~)
- ・ 大型浚渫兼油回収船「白山」による緊急支援物資輸送訓練
- (4) 閉会 (1 1 : 3 0 ~)
- ・ 講評

○参加者

佐渡市、新潟市、聖籠町、新潟県佐渡地域振興局、北陸地方整備局

佐渡汽船(株)、ウエルシアホールディングス(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)

NPO法人コメリ災害対策センター、生活協同組合コープデリにいがた、(株)ローソン

みなとオアシス佐渡両津運営協議会、(一財)危機管理教育&演習センター

○訓練会場 両津港湊地区南埠頭2号岸壁近



【参考資料】

<参考1>大型浚渫兼油回収船「白山」による一般公開（無料、申込不要）

公開時間 13:30～16:00 ※最終受付 15:30

場 所 両津港 南埠頭2号岸壁

注意事項

- ① 専用の駐車場はありませんので、最寄りの駐車場をご利用下さい。
- ② 船内は急勾配や段差が多いため、サンダル、かかとの高い靴等はご遠慮下さい。
- ③ 天候等の都合により内容変更や中止になる場合もありますのでご了承願います。

大型浚渫兼油回収船「白山」

北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所に所属し、港の機能を守る浚渫と、海的环境を守る油回収の2つの機能を兼ね備えた船です。この船舶は東日本大震災を契機に大規模災害への対応に出動した実績があります。



全 長：93.9m
幅：17m
総トン数：4,185トン
最大速力：13.1kt（約24km/h）

<参考2>「命のみなとネットワーク」について

「命のみなとネットワーク」について 別紙1 国土交通省

○近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことのない豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生。
○陸路が寸断し孤立化した被災地において、緊急物資や救援部隊、被災者等の海上輸送の事例が増えつつある。
○こうした状況を踏まえ、「みなと」の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めていく。

【支援物資輸送拠点】 13年度7月豪雨時の物資輸送（佐渡県中津島）
【被災者の救援輸送拠点】 13年度7月豪雨で被災した佐渡県中津島で被災者等の輸送（佐渡県中津島）
【生活支援拠点】 13年度7月豪雨で被災した佐渡県中津島で被災者等の生活支援（佐渡県中津島）

【国土交通省・市町村等による防災訓練の実施】 「みなと」を活用した物資輸送や被災者輸送等の防災訓練を定期的に実施。
13年度10月に佐渡県で実施した、船舶を活用した緊急物資輸送・被災者輸送訓練

【「命のみなとネットワーク」の形成に向けて～「みなと」を活用した災害支援事例集Ver1～の作成】 「みなと」を活用した災害対応支援を行った過去事例をまとめたもの。

出典
国土交通省HP 令和4年9月22日
報道・公表資料

<参考3>佐渡島「命のみなとネットワーク」推進協議会について

上記施策の趣旨を踏まえ、佐渡島内における「港湾・漁港」の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを形成することを目的に令和5年3月27日に立ち上げ。

会 長：佐渡市 市長

副会長：新潟市 市長、聖籠町 町長

構成機関・団体

佐渡市、新潟市、聖籠町、新潟県、ウエルシアホールディングス(株)、
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、NPO法人コメリ災害対策センター、
佐渡汽船(株)、生活協同組合コープデリにいがた、(株)ローソン、
みなとオアシス佐渡両津運営協議会、(一財)危機管理教育&演習センター、
国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所

